

9. *Stephanitis ambigua* HORVÁTH, 1912 ヤマコウバシグンバイ

江崎博士と武谷氏の図説がある(1931)。武谷氏は朝鮮ではダンコウバイを食するとされ(1951)、九州ではヤマコウバシ (*Lindera glaucum* BLUME) の葉を食しているのを採集したとも述べられておられる(1953)。さらに信濃ではシロモジを食していると記されている(1963)。LEEにより4, 5令幼虫及び♂交尾器が図説されている(1969)。県下では次の記録を知るのみである。

産地: Akashi [HORVÁTH, 1912—TAKEYA, 1951]

尼崎西南部の昆虫(その2)

新家 勝

IV Lepidoptera 鱗翅目

1 HesperIIDae セセリチョウ科

(1) *Pelopidas mathias oberthüri* Evans チャバネセセリ

1945.10.17

セイタカアワダチソウの花に群がるイチモンジセセリに混じって吸蜜していたもので、多くはなかった。

(2) *Parmara guttata* Bremer et Grey イチモンジセセリ

1950.8.20

オオイボタ、ヘチマ、セイタカアワダチソウの花に多数吸蜜に来た。

2 Papilionidae アゲハチョウ科

(1) *Graphium sarpedon nipponum* Fruhstorfer アオスジアゲハ

1947.6.30 1♂, 1947.7.18 1♀, 1950.4.16 1♂, 1949.6.30 1♂

ネギ、オオイボタの花によく吸蜜に来た。いたるところのクスノキで発生していた。

(2) *Papilio machaon hippocrates* C. et R. Felder キアゲハ

1943.8.11 1♂, 1950.6.18 1♀

8月、日当りのよい武庫川堤防の斜面で見られたが、不思議に春型を見たことはなく、少

ないものであった。武庫川沿いの水路に生えるセリで発生していたと思われる。

(3) *Papilio xuthus* Linné アゲハ

1950.4.16 春♂、1947.5.2 春♀、1947.6.26 夏♀、1950.5.5 春♀

ヒラド、オオイボタ、センダン、サルスベリなど各種の花に飛来した。民家の甘橘で発生していた。

(4) *Papilio protenor demetrius* Cramer クロアゲハ

1950.6.30 1♂、1943.5.15 1♀、1948.8.22 1♀、1950.5.1 1♂

時々、庭へ飛来した。素盞鳴神社北側のナツミカンで幼虫が見られることがあった。しかし、カラスアゲハは見たことがなかった。

3 Pieridae シロチョウ科

(1) *Pieris rapae crucivora* Boisduval モンシロチョウ

1946.4.4 1♂、1950.4.16 2♀

家庭菜園のダイコン、ジャクシナなどは、直ぐに丸坊頭になるほど多産した。

(2) *Eurema hecabe mandarina* de l'Orza キチョウ

1947.10.21, 1948.10.22, 1949.10.1, 1949.10.9, 1949.10.16

オオイボタ、セイタカアワダチソウの花によく吸蜜に来た。

(3) *Colias crate poliographus* Motschusky モンキチョウ

1947.10.21, 1948.10.22, 1949.10.1, 1949.10.9, 1949.10.16

オオイボタ、セイタカアワダチソウの花によく吸蜜に来た。

4 Lycaenidae シジミチョウ科

(1) *Lycaena phlaeas* Seitz ベニシジミ

1947.6.22, 1949.10.16, 1949.10.21

(2) *Lampides boeticus* Linné ウラナミシジミ

1949.10.1 1♂、1949.10.7 1♂、1949.10.25 2♀

セイタカアワダチソウによく吸蜜に来た。秋型は多いが、春型は見たことがなかった。

(3) *Zizeria maha argia* Ménériés ヤマトシジミ

1949.9.24 3♂、1950.5.7 1♂、1949.10.16 1♀

(4) *Celastrina argiolus ladonides* de l'Orza ルリシジミ

1947.6.20 1♂、1948.6.13 1♂、1950.5.4 1♂、1949.9.25 1♀

(5) *Narathra jappnica* Murray ムラサキシジミ

1949.12.2, 1949.12.4

アラガシでよく見られたが、初冬の頃、ヤツデの花で吸蜜中のものは捕えやすかった。

5 Nymphalidae タテハチョウ科

- (1) *Vanessa indica* Herbst アカタテハ

1947.10.19

ヒメアカタテハも普通で、セイタカアワダチソウによく来たが、標本は破損したため廃却してしまった。ルリタテハ素盞鳴神社のアキニレの樹液で時々見られたが、これも標本は破損したため廃却してしまった。

- (2) *Polygonia caureum* Linné キタテハ

1950.7.4 1♂、1947.6.14 1♀

秋型はセイタカアワダチソウの花によく吸蜜に来た。

- (3) *Apatura ilia substituta* Butler コムラサキ

1949.6.1

民家に栽植されているシダレヤナギでよく発生していた。

- (4) *Hestina japonica* C.et R.Felder ゴマダラチョウ

1949.5.31

武庫川堤防のエノキの梢を飛び回るのがよく見られた。素盞鳴神社のアキニレの樹液に飛来したほか、食べ残しのスイカを捨てると、吸汁に来ることがあった。

6 Satyridae ジャノメチョウ科

ヒメジャノメ1種を産し、イチジクの樹液によく集ったほか、ごみにも集まった。標本は破損したため廃却してしまった。

7 Sphingidae スズメガ科

- (1) *Herse convolvuli* Linne エビガラスズメ

1947.5.25

- (2) *Psilogamma increta* Walker シモフリスズメ

1947.6.30

オオイボタ、キンモクセイ、ムクゲでよく発生していた。

- (3) *Clanis bilineata tsingtauca* Mell トビイロスズメ

1947.6.28, 1950.6.14

武庫川堤防のニセアカシアで発生していた。モモスズメ、ウンモンズズメ、ウチスズメも普通に見られたが、標本は破損したため廃却してしまった。

- (4) *Cephanodes hyalis* Linné オオスカシバ

1947.6.8,1947.6.24

クチナシ、コクチナシでよく発生していた。

- (5) *Gurelca himachara sangaica* Butler ホシヒメホウジャク

1947.6.24

- (6) *Macroglossum pyrrhosticta* Butler ホシホウジャク

1949.10.1

- (7) *Theretra japonica* de l'Orza コスズメ

1947.6.21

- (8) *Theretra oldenlandai* Fabricius セスジスズメ

1946.6.14

サトイモ、ホウセンカで発生していた。

- (9) *Theretra nessus* Drury キイロスズメ

1950.8.12

ヤマイモでよく発生していた。ベニスズメはミソハギで時々、発生していた。

8 Saturniidae ヤママユガ科

- (1) *Antheraea yamamai* Guérin- Méneville ヤママユガ

1949.10.9 1♂

自宅のアラガシで発生したもの。近所のアラガシでも時々、幼虫が見られたが、捕まえて自宅のアラガシを与えても食したことがなかった。

シンジュサンは、毎年素盞鳴神社のクロガネモチで多数発生していたが（第17巻第1号参照）、クスサンは武庫川堤防のイチョウで多数の繭を見たことがあるのみであった。アラガシで育つヤマユは散発的に、シンジュサンはクロガネモチで定常的に発生し、クリのないこの地域でクスサンは稀に発生していたといえよう。

9 Aganidae トラガ科

- (1) *Seudayra subflava* Moore トビイロトラガ

1950.5.14

10 Noctuidae ヤガ科

- (1) *Diarsia canescens* Butler オオバコヤガ

1949.9.21

- (2) *Amphipyra livida* Motschulsky カラスヨトウ

1946.7.3

- (3) *Adris tyrannus amurensis* Staudinger アケビコノハ
1949.9.5
- 11 Notodontidae シャチホコガ科
- (1) *Phalera fuscescens* Butler ムクツマキシヤチホコ
1949.8.17
- 12 Limantriidae ドクガ科
- (1) *Euproctis similis* Fuessly モンシロドクガ
1947.6.30
- (2) *Euproctis pseudoconspersa* Strand チャドクガ
- 13 Lasiocampidae カレハガ科
- (1) *Gastropacha populifolia* Esper ホシカレハ
1945.6.5, 1949.7.25
- (2) *Philudoria alubomaculata* Bremer タケカレハ
1946.6.10
- (3) *Dendrolimus spectabilis* Butler アツカレハ

ユリクビナガハムシについて

(兵 庫 県 甲 虫 相 資 料 ・ 2 3 6)

高 橋 寿 郎

ユリクビナガハムシ *Lilioceris merdigera* (LINNÉ) は LINNÉ がヨーロッパ産で *Chrysomela merdigera* として記載された種である (Syst. Nat. ed. p.375, 1758)。

ヨーロッパでは良く知られている種のように、E. RETTER の Fauna Germanica IV の中でカラー図説されている (p.80, Tafel. 142, f. 3, 1912)。また、G. PORTEVIN の Coléoptères de France Tome III の中でも (p.190, f. 349, 1934) 図をつけて解説がある。

本種が日本から記録されたのは狩谷精又氏の佐賀県からのものが始めての様である (農事改良資料